

## 平成30年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	農を基盤とした理工系グローバル人材養成のための実践英語力向上システム	
実施組織 (または対象のカリキュラム)	農学部	
※連携する他学部・機関 がある場合は記入	「MILESTONE 英会話」学校(長野県伊那市), 国際農学教育研究センター	
実施責任者(所属)	大窪 久美子 (農学部)	
取組の目標	グローバル社会に適応し活躍できる農を基盤とした理工系グローバル人材養成をすることを目的とする。	
1. 目標達成のために行った 活動と成果 (箇条書きで項目ごとに 番号を付けて記載。成果 の詳細は必要に応じて別 添とする)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「MILESTONE 英会話」学校よりネイティブ講師を招き学生向け英語スキルアップ講座を開講した(申込者 6 名, 60 分×20 回)。</li> <li>2. 「MILESTONE 英会話」学校よりネイティブ講師を招き, 留学を考えている学生向けの英語スキルアップ講座を開講した(申込者 15 名, 90 分×10 回)。</li> <li>3. 「MILESTONE 英会話」学校よりネイティブ講師を招き, 希望者する学生に対し, 英語によるプレゼンテーションの指導をするグループプレッスンを行った(申込者 9 名, 60 分×1 回, 90 分×2 回)。</li> <li>4. 上記 1 の講座受講生に 6 月及び 12 月開催の TOEIC-IP テストを受験させ, 能力測定を行った。</li> </ol>	
2. 目標達成度に関 わる所見と今後 の展望  (達成の度合い を選び, そう評価 する理由と今後 の展望を記述)	a. 達成できた ⑥. おおよそ 達成できた c. 半ば達成で きた	<p>(評価理由)</p> <p>学生向け英語スキルアップ講座については、「英語力を高められる授業だった」や「楽しく英語を学ぶことができた」と高評価な意見が多かったが, 6 月と 12 月に実施した TOEIC-IP テストでは, 6 月のスコアと 12 月のスコアはほぼ変わらなかった。一方で, スキルアップ講座に参加した学生のうち, 21 名が海外農学実習に参加していた。また, 農学部全体で今年度に留学に行った人数は, 昨年度と比べ 37 名増加していた。</p>
	d. おおよそ達 成できなかつ た e. 達成できな かった	<p>(今後の展望)</p> <p>ネイティブ講師による英語スキルアップ講座とに加えアルク・ネットアカデミーの活用を促し, イングリッシュサロン・グローバルサロン・海外協定校作成のビデオレターを通して, 異文化への理解や海外への興味を喚起させ, 引き続きグローバル活動の実践の場として海外農学実習や海外留学を促す。海外での経験を通じて, 世界で活躍するために必要なスキルや意義・魅力を認識させ, 活用留学に向けた主体的学修を促す。さらに, 海外での経験について発表する場を設定することで, 各々の情報発信力の強化・海外体験の共有化・これから留学を目指す学生への具体的なイメージの提示といった多面的な教育効果をあげる。</p>